



産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 9日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者

住 所 埼玉県北足立郡伊奈町中央2-153

氏 名 前田道路株式会社 伊奈営業所

所長 静間 邦行

電話番号 048 - 723 - 0286

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	埼玉県管轄内工事
事業場の所在地	埼玉県管轄区域内
計画期間	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 115,171,092円
③ 従業員数	8名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出事業所 前田道路株式会社 伊奈営業所 ↓ 収集運搬業者 委託 ↓ 処分業者 委託

1-022-01

6-22 (日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

前田道路株式会社	伊奈営業所	営業所長
↓		
前田道路株式会社	伊奈営業所	工事課長・事務担当者
↓		
前田道路株式会社	伊奈営業所	工事担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】 ※別紙1の通り	
	産業廃棄物の種類	—
	排出量	—
	(これまでに実施した取組) ※別紙1の通り	
② 計画	【目標】 ※別紙1の通り	
	産業廃棄物の種類	—
	排出量	—
	(今後実施する予定の取組) ※別紙1の通り	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各工事において工事担当者が廃棄物の種類ごとに分別することを作業員に指示し、分別状況を確認。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各工事において工事担当者が廃棄物の種類ごとに分別することを作業員に指示し、分別状況を確認。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	141 t	—
	(これまでに実施した取組) 運搬距離等を考慮しながらなるべく自社処分を心がけた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	96 t	—
	(今後実施する予定の取組) 引き続き運搬距離等を考慮しながらなるべく自社処分を心がける。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	141 t	—
(これまでに実施した取組) 運搬距離等を考慮しながらなるべく自社処分を心がけた。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	96 t	—
(今後実施する予定の取組) 引き続き運搬距離等を考慮しながらなるべく自社処分を心がける。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022年度 ）実績】 ※別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
※別紙2の通り			

② 計画	【目標】 ※別紙2の通り	
	産業廃棄物の種類	—
	全処理委託量	—
	優良認定処理業者への 処理委託量	—
	再生利用業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
	(今後実施する予定の取組) ※別紙2の通り	
※事務処理欄		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2022年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラ	紙くず	金属くず	廃油
排出量 t	16.81	1401.15	28.6	1.3	6	0.18
（これまで実施した取り組み）						
ISOの一環として産業廃棄物の適正管理を行った。また、排出抑制についても継続的に 行っている。						

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラ	紙くず	金属くず	廃油
排出量 t	13.45	952.78	22.9	1.04	4.8	0.14
（今後実施する予定の取り組み）						
ISOの管理手法を用いて、引き続き適正管理を行うと同時に排出抑制についても併せて 行っていく。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2022年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラ	紙くず	金属くず	廃油
全処理委託量	16.81	1401.15	28.6	1.3	6	0.18
優良認定処理業者への委託量	16.81	27.23	28.6	1.3	6	0.18
再生利用業者への処理委託量		1232.92				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(これまで実施した取り組み)						
ISOの一環として産業廃棄物の適正管理を行った。また、排出抑制についても継続的に行っている。						

計
1,458.04
80.12
1,232.92

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラ	紙くず	金属くず	廃油
全処理委託量	13.45	952.78	22.9	1.04	4.8	0.14
優良認定処理業者への委託量	13.45	18.52	22.9	1.04	4.8	0.14
再生利用業者への処理委託量		934.26				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(これまで実施した取り組み)						
がれき類に関しては自社処分が可能である為、運搬距離等を考慮しながら自社処分を心がけるとともに排出抑制についても継続的に行った。						
(今後実施する予定の取り組み)						
排出抑制に加え自社処分・再生利用に関してこれまで以上に意識を高めていく。						

計
995.11
60.85
934.26